

特定粉じん排出等作業中の大気濃度の測定に係る検討について

研究・調査・検討	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度以降
石綿繊維数濃度 測定の迅速化	<p>大気アスベスト連続自動計測装置の開発 (環境研究総合推進費による研究)</p>			<p>商品化等、研究成果の活用 可能性を把握</p>	
総繊維数濃度 測定の迅速化		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの周知等による大気濃度測定の促進 ・民間検査機関での検査体制の整備・進展状況を把握 ・早期に検査できる体制を構築する際の課題と対応を検討 (民間検査機関の団体と連携) 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・総繊維数濃度測定の測定技術の向上にかかる情報収集及び積極的な情報発信 (分析機器メーカー、分析実施者などと連携) 			
測定結果を作業管 理に用いる際の課 題と対応		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な現場や実証試験による大気濃度測定データの収集・解析 (総繊維数濃度及び石綿繊維数濃度の両方のデータを収集・解析) (関係団体、解体等工事業者、都道府県等と連携) ・各現場での作業内容・管理状況と大気濃度測定データの収集・解析 			
大気濃度の測定 の制度化に係る検討				<p>研究成果、各種調査検討の進展状況等を踏まえ、体制 や運用を含めた対応について検討</p>	